

職員研修

AEDの使用方法

日時 : 令和 5 年 5 月 26 日 金 曜日 14 : 00 ~ 15 : 00

記録者 : 樋口

☆今年度AEDを新たに購入（レンタル購入）し購入先の日本光電工業株式会社 望田朋也様を講師にお招きしAEDの使用方法、救命の手順を講習を受けた。



◎救命の手順

- ①倒れている人を発見した。安全を確認し倒れている人に近づく。
- ②意識の確認
- ③助けを呼ぶ「119番お願いします」「AEDお願いします」
- ④呼吸の確認をする。
- ⑤胸骨圧迫（心臓マッサージ）行う。
- ⑥AEDで電気ショック 電気ショック後⑤に戻り救急隊が来るまで繰り返し行う。

☆講師 1名

参加者 8名（全員職員）

計9名



①②安全を確認して倒れている人に近づき、意識確認行う。



⑤⑥胸骨圧迫、AEDを繰り返し行う。心臓マッサージは想像以上に疲れるので1.2分ごとに交代するのがベスト。ずっと同じ人がマッサージを行うと圧迫が弱くなる。

◎AEDの日常点検、使用方法、使用上の注意事項
別紙参照。

私たちの行動で救える命があります

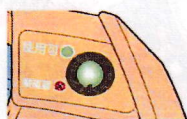
AEDの日常点検

毎日午前12時(正午)にセルフテストを行います。点検結果をステータスインジケータの表示で確認してください。



毎日の点検

ステータスインジケータが
緑色(使用可)であるか確認



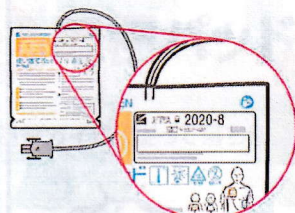
使用可



要確認

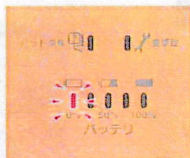
赤色の場合

赤色の場合は電源スイッチを
手前に引いてフタを開け、
診断パネルをチェックします。



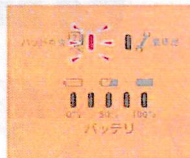
電極パッドには
使用期限があります。
期限を過ぎた電極パッドは
交換してください。

バッテリー残量ランプが
赤く点灯している場合



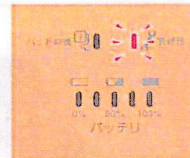
新しいバッテリーに
交換してください。

パッド点検ランプが
赤く点灯している場合



電極パッドの接続や
使用期限を
確認してください。

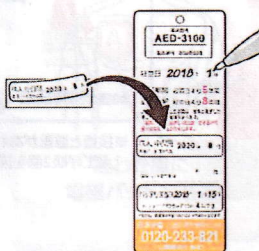
要修理ランプが
赤く点灯している場合



故障しています。
当社または販売店にご連絡
ください。

設置管理タグ

電極パッドおよびバッ
テリーを交換した場合
は、交換したものに付
属している新しいシー
ルをタグに貼ってくだ
さい。



設置に関する注意点

早期除細動を可能にするために、施設内の
どこにAEDがあるのか明確にしましょう。

AED 設置条件 (AED-3100)
温度: -5°C ~ +50°C
湿度: 5% ~ 95%
大気圧: 540hPa ~ 1060hPa

※機種により異なるため取扱説明書をご確認ください



AEDをいつでも安全・確実に使用するために

AEDの点検担当者を決めてください。
点検担当者の方は、日常点検の実施・
消耗品の管理をしてください。
AEDの設置場所・住所等を変更した
場合、廃棄の際はご連絡ください。

点検表 AED-3100 装置番号: []			
毎日の点検 ステータスインジケータが緑色に表示していることを確認します。			
点検項目	点検日	点検者	点検結果
緑	日	氏名	緑
赤	日	氏名	赤
赤	日	氏名	赤
赤	日	氏名	赤

AED Linkage

AED Linkage はAEDの管理をサポートする
リモート監視システムです。
このシステムを利用することでAEDの状態を
集中管理することができます。

日本救急医療財団全国AEDマップ
<https://www.qqzaidanmap.jp/>

この資料は「Non-VOCインキ」「水なし印刷」で印刷しています。

日本光電 日本光電工業株式会社 東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560
AED保守受付センター ☎0120-233-821

<https://www.nihonkohden.co.jp/>



資料No. SP66-0007C '19.10. SE. CO. 9886

救命の手順

1 安全の確認

2 肩をたたいて意識の確認

3 助けを呼ぶ
119番を11 AEDを1

4 呼吸の確認
胸と腹部の動きを見て、呼吸の確認をします (10秒以内)
※わからない時は胸骨圧迫を開始

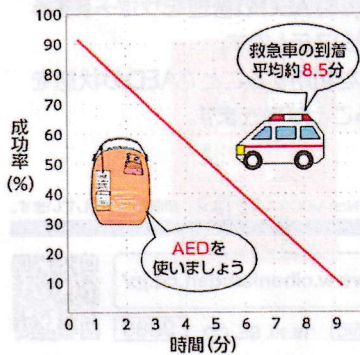
5 胸骨圧迫
胸が約5cm沈む程度の強さで、1分間に100回から120回のテンポで押します

6 AEDで電気ショック
体から離れてください

30回の胸骨圧迫 2回の人工呼吸
※技術と意思があれば胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す

救急隊に引き継ぐまで心肺蘇生を続けましょう

成功の可能性が1分ごとに7~10%低下



私たちの行動で救える命があります

AEDの使用法

簡単 3 ステップ!

AEDの使用条件

- 意識がない
- 普段通りの呼吸をしていない
- 脈がない (熟練救助者のみ)

1 フタを開ける

電源スイッチを手前に引いて
フタを開けます
音声ガイドが流れ、パッド装着指示ランプが
点滅します。



AED

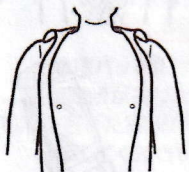
(Automated External Defibrillator)とは?

自動体外式除細動器

- 除細動 : 心室細動を電気ショックで取り除くこと
- 心室細動 : 心臓の筋肉がバラバラに震え、ポンプとして血液を送り出すことができない状態 (心停止) のこと。

2 電極パッドを貼る

音声ガイドに従って落ち着いて行動してください



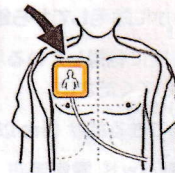
胸部の衣服を
脱がす



電極パッドの
パッケージを開ける



電極パッドを矢印部分から
ゆっくりと剥がしてはがす



右胸の上部に
電極パッドを貼る



もうひとつの電極パッドを
矢印部分から
ゆっくりと剥がしてはがす



左わき腹に
電極パッドを貼る



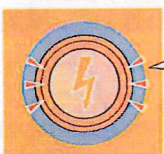
パッド装着指示ランプが
消灯していることを
確認する

電極パッドを貼ると
心電図を調べ始めます
体にさわらずに
次の音声ガイドを待ちます

「体にさわらないでください」「心電図を調べています。体にさわらないでください」と音声ガイドが流れます

3 ショックボタンを押す

電気ショックが必要な心電図と判断すると、エネルギーの充電後ショックボタンが点滅します



体から離れてください。
点滅ボタンをしっかりと
押してください。

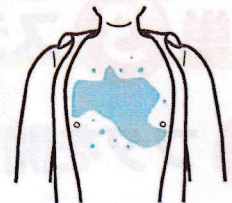
誰も倒れた人の体にさわっていないことを確認してから、
点滅しているショックボタンを押します
(アナウンス後30秒以内)

電気ショックを与えた後、または電気ショックは必要ないとAEDが判断した場合は、
直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を繰り返し行います (次の心電図解析までの2分間)

AED使用上の注意

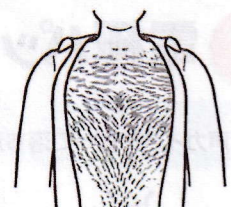
詳細は取扱説明書をご覧ください。

- 電極パッドは素肌にしっかりと貼ってください。
- 胸部に薬剤が貼付されている場合は、薬剤をはがしてください。残った薬剤も拭き取ってください。
- 体が水に濡れている場合は、タオルなどで水分を拭き取ってください。
- 鎖骨の下が膨らんでいる場合は、ペースメーカーが入っている可能性があります。膨らみから8cm以上離して電極パッドを貼ってください。(ただし、電極パッドを貼る位置に迷って、救命が遅れることがないようにしてください。)
- ネックレスをしている場合は、外してください。外せないときは、電極パッドの下に入らないようにネックレスをずらしてください。
- 呼吸を再開しても、再び電気ショックが必要になる可能性があるため、電極パッドは貼ったまま、フタは開けたままで救急隊の到着を待ちください。



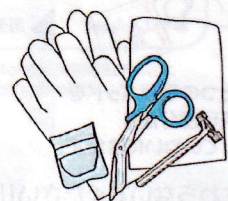
AEDをお使いになる際に、心電図にノイズ(アーチファクト)が混入していると、正しく解析結果を得られないことがあります。できるだけ心電図にノイズを混入させないために、次のような対応をお願いします。

- 胸部が毛深い場合は、電極パッドを胸に強く押しつけて密着させてください。可能な場合はすみやかに除毛してから電極パッドを貼ってください。
- 高齢者など皮膚が極度に乾燥している場合は、皮膚と電極パッドの接触がよくなるよう、汚れや皮脂を取り除いてください。
- 携帯電話はAEDからできるだけ(1m以上)遠ざけてください。
- 近くで電化製品(電動ベッド、電気毛布、エアコン、マイクロ波治療器など)を使用している場合は、電化製品の電源を切ってください。
- 鉄道のホームで使用する場合は、できるだけ架線から離れてください。
- 車内で使用する場合は、停車して心電図の解析を行ってください。
- 心電図の解析中・充電中には、胸骨圧迫を行わず、さわらないでください。



レスキューキット 救命の際にあると便利な道具がそろっています

- ニトリルグローブ(手袋)
- カミソリ
- ハサミ
- タオル
- 蘇生用マウスピース (RESACO-R)



小児(未就学児)へ使用する場合

小児(未就学児)の場合、成人・小児モード
切換スイッチを小児側に切換えます



体が大きい場合
右胸と左わき腹へ貼ります



体が小さい場合
電極パッドが重なったり、
接触してしまう場合は、
胸の真ん中と背中に貼ります

